

# ごみを

# 減らして家計もスリムに

## エネルギーセンターからのお願い

出雲エネルギーセンターに搬入された可燃ごみの中に、燃えないごみ(金属)が混入していたため、処理機械が破損したことがあります。

そうすると、ごみ処理が中断し、さらに高額な修理代を払うことになってしまいます。

ごみは必ず、きちんと分別して出してください。

### 可燃ごみに混ざっているごみ

- 針金、空き缶などの金物類
- ピン、陶器類
- カセットテープなどの長いもの



紛れ込んだ金属の塊のために、欠けてしまった破砕機の刃

出雲エネルギーセンター(TEL 23-9225)

## 紙類

分別は4種類。金属やビニールなどの異物は取り除く

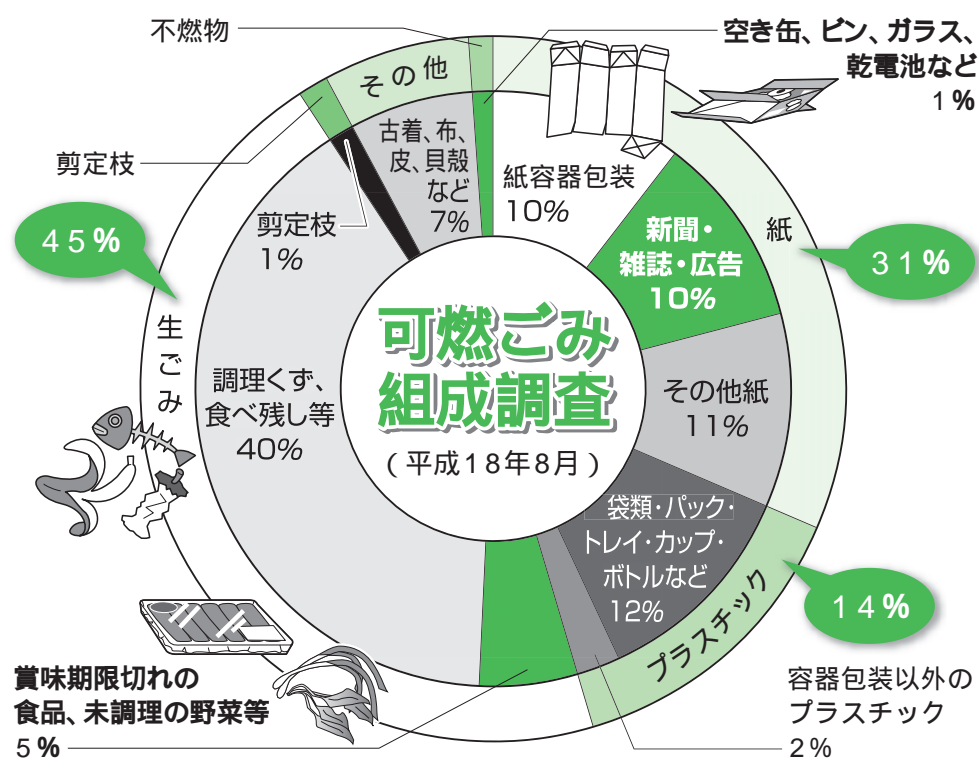
- 新聞・折込チラシ
- 雑誌・本・雑紙
- 紙パック
- ダンボール

出雲・多伎・湖陵・大社地域は紙リサイクルステーションへ、平田・佐田地域は集積場へ出してください。

食品の外箱、菓子箱、封筒やラップの芯などもリサイクルできます。不要の封筒や紙袋を用意し、そこに入れて、ひもでしばって出すよう習慣づけましょう。



雑誌やカタログなども紙リサイクル



毎日のように家庭から出るごみ。市民1人が1日に出すごみの平均は約1キログラムにもなりません。  
今週は、8月に行った「可燃ごみ組成調査」の結果から、どうしたらごみを減らせるのかを考えてみましょう。

## 刈り草

刈り草は、発酵させ、たい肥にすることができます。

出雲エネルギーセンター敷地内に新設したせん定枝チップ化設備



持ち込まれたせん定枝

## せん定枝

せん定枝などをチップ化する設備を出雲エネルギーセンターに新設しました。



回収した油はバイオディーゼル燃料に生まれ変わって、平田地域を走る生活バスの燃料に使用しています

## 廃食用油

本庁・各支所やコミュニティセンターなど、市内42か所に設置している回収タンクに入れてください。回収は植物油に限ります。

## 徹底的にリサイクル

生ごみの次に多かったのは紙類。この中には、たくさんのリサイクルできる紙が含まれていました。新聞紙・雑誌などはもちろん、チラシや紙箱なども分ければ資源にすることができず。  
ごみの減量は、環境への負荷を減らすだけでなく、処理経費の削減にも大きな効果が期待できます。  
あなたの家庭でも、まずは150グラム、リンゴ半分の減量から始めてみませんか。

## 生ごみ水切りのコツ

野菜くずや果物の皮など、乾いたごみはぬらさない。三角コーナーの生ごみは、一晩置いて、水気を切ってから捨てましょう。水切りネットを使っている場合は、水気をよく絞りましょう。



生ごみはぎゅっと絞って水分を減らしましょう

## 減らないごみ。その内訳は

市で処理するごみのうち、可燃ごみは年間4万トンあまり。市民一人あたり1日に755グラムのごみを出している計算です。今年8月にこの内訳を調べてみたところ、なんと、45パーセントが「生ごみ」。しかも、賞味期限切れの食品なども多く含まれていました。本当にもったいないですね。  
食べきれない量の食材や過剰な包装など、「ごみ」を家庭に持ち込まないように心がけたいものです。  
また、台所から出る生ごみの約8割は水分です。ごみを出すときに、水気をしっかり切れれば、その分だけごみの重量が減らせます。

ごみ減量・リサイクルに  
ついてのおたすねは  
資源リサイクル課  
(0530)